

## 1 現行の目標設定の考え方

行政経営方針は、行財政面のマネジメントや、環境整備のための手段を定めたものであり、基本的な目的は、県の最上位計画である基本構想(および総合戦略)に掲げる施策の環境整備や推進、目標(KPI)の達成にあるが、取組の着実な推進を図るため、取組項目ごとに目標を定め、毎年度の進行管理を行っている。

### 基本構想

- ① 長期ビジョン編(H52頃の目指す姿)と重点政策編で構成
- ② 5つの目指す姿を実現していくため、H27~H30の4年間に先駆的・重点的に取り組む7つの重点政策のもとに、各種施策を位置づけ

7つの重点政策ごとにH30年度時点の目標値を設定

### 人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略

- ① 基本構想の重点政策を推進するためのエンジンとして位置づけ
- ② 人口目標、今後目指すべき豊かな滋賀の将来像、その実現に向けた19のプロジェクトを提示

19プロジェクトごとに重点業績評価指標(KPI)を設定

### 行政経営方針

基本構想の実現を下支えするため、行政経営の基本的考え方、具体的な手段を明確化

(1) 広報・広聴、協働

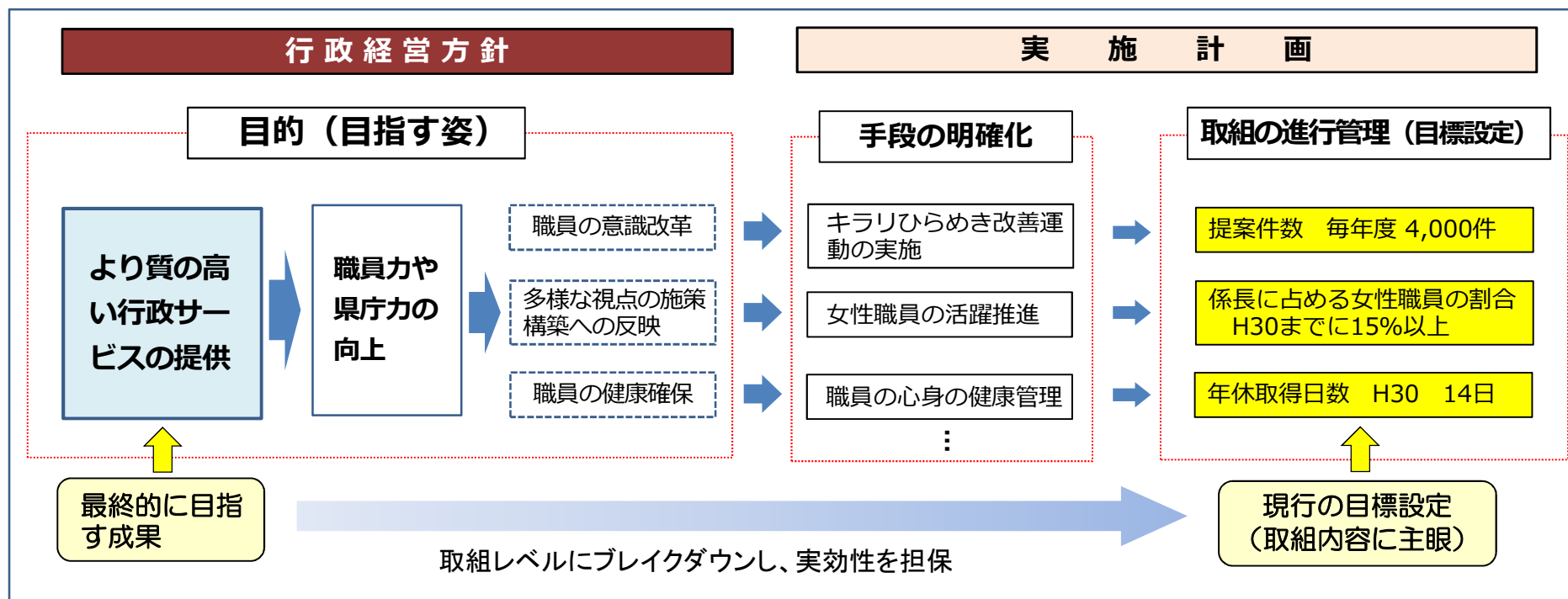
(2) 地方分権

(3)4つのマネジメント(①人材・組織、②業務、③公共施設等、④財務)

## 2 行政経営方針と実施計画の関係(イメージ)

2

(例) 人材・組織マネジメントの場合



### 【現行の目標における課題】

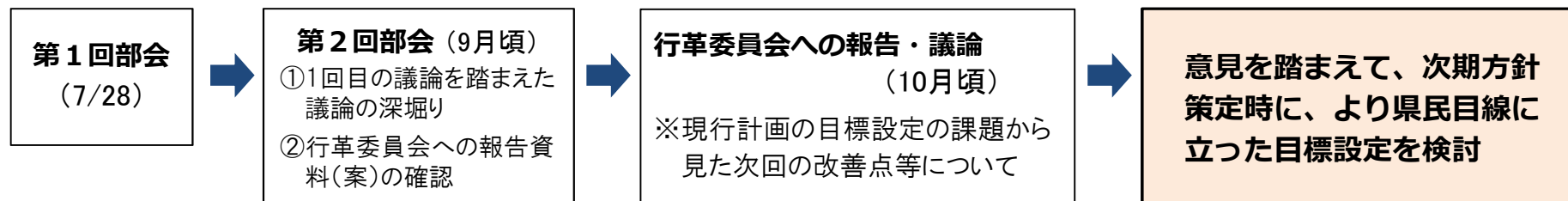
- ① 現在設定している99の目標のうち、半分近くは定性的な目標。  
目的に照らし、適切な目標を設定する必要がある。 ※定量化が困難な取組も存在する。
- ② 原則、計画終了時点（平成30年度）の目標値としており、年度ごとの目標値を定めていないため、毎年度の達成度が示しにくい。
- ③ P D C Aサイクルを回しやすい目標設定になっているか。

## (ご意見を伺いたい点)

### 目標設定について

前述の課題等も踏まえ、次期方針の策定に向けて、現行の実施計画における目標設定（資料1-2）の課題や改善すべき点等について、ご意見を伺いたい。

## (ご意見を踏まえた今後の予定)



### (1)現行の目標設定における課題

アウトプットの目標や定性的な目標が多く、進捗度の把握が比較的容易である反面、成果を表すことが難しい面がある。

(最終的な成果が見えにくい)

### (2)成果指標(アウトカム)とする場合の課題

- ① 人材育成や財政の健全化など行政経営の効果は、県の施策や行政サービス全般に及ぶため、取組ごとに成果指標を定めることが困難な面がある。
- ② 成果指標は、概念的なものが多く、効果測定が困難な面がある。
- ③ 成果指標の場合、効果発現までの時間や、他の外的要因の影響により、正確な効果が把握しにくい。